

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 福岡県大牟田市立宅峰中学校

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫^{※注1}
☒ 中学校 ☐ 中高一貫^{※注2} ☐ 高等学校
☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校
☐ 特別支援学校
☐ その他（例：小中高一貫）
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒 836 — 0846
福岡県大牟田市右京町1番地

E-mail takuhou-js.@st.city.omuta.fukuoka.jp

Website http://www.e-net21.city.omuta.fukuoka.jp/takuho-jh/

幼児児童生徒数 男子 215 名 女子 215 名 合計 430 名
幼児・児童・生徒の年齢 12 歳～ 15 歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

（1）活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「徳・知・体の調和がとれ、次代を切り拓く高い志を持つ生徒の育成」を学校理念として、ESDを自分のものと捉え、ESDの実践を通して、問題解決的な学習を通し、将来にわたって持続可能な発展に向けての知識や価値観を持ち、行動できる力の育成、体系的な思考力の育成、情報収集・分析能力・コミュニケーション能力の育成を目標とした。

具体的には、①福祉学習に係わる活動、②進路学習に係る活動、③キャリア教育に係わる活動、④保育学習に係わる活動を行った。

① 福祉学習に係わる活動

【第1学年】

「誰もが安心して暮らせる大牟田のまちづくり」

○学習のねらい

- ・大牟田における福祉の取り組みを学ぶことを切り口に、地域の現状と自分の立場を自覚し、社会の一員として地域づくりに参画する実践力を育てる。

○具体的な学習内容

- ・ 学習の内容、流れを確認する。
- ・ 福祉について考える。
- ・ 大牟田市役所（保健福祉課）や（長寿社会推進課）の方から大牟田市の福祉のネットワークの現状を説明してもらう。
- ・ 地域の方や社会福祉協議会の方からの話を聞いたり、認知症についての絵本教室を体験したりする。
- ・ 認知症についての声かけ寸劇づくりを行い、校区の民生委員さんや児童委員さんへ発表する。
- ・ 障害者を支える取り組みの現状を福祉施設や企業の方から話を聞く。
- ・ 大牟田市の福祉に関わるひと・もの・ことを30の福祉関係施設に取材し、誰もが安心して暮らせるための取り組みについて自分たちの意見をまとめる。
- ・ 1年間の取り組みの内容を報告する。

② 進路学習に係る活動

【第2学年】

「進路学習」

○学習のねらい

- ・ 高校についての情報に加えて、高校卒業後の大学や専門学校など、さらには大学卒業後の就職などのもう一歩先の情報を提供し、将来設計について考える機会とする。

○具体的な学習内容

- ・ 学区内の高校や近隣の大学から講師を招き、各学校の取り組みなどを講話してもらい生徒の進路学習に繋げるとともに、高校や大学卒業後の情報も提供してもらう。
- ・ 夏休みのオープンスクールやオープンキャンパスを利用して、2年生も参加し、具体的なイメージをふくらます。
- ・ 進路学習会として、8校の高校・大学の先生を招き、各ブースにて展開し、生徒の進路選択の視野を広げる。

③ キャリア教育に係わる活動

【第2学年】

「働くことの意義を学ぶ地域職場体験」

○学習のねらい

- ・ 地域のさまざまな人の生活にふれながら、働くことの意義や価値について学ぶ。
- ・ 自分の生き方を省みて、目的を持って活動に取り組み、意欲的な中学校生活を送ろうとする意識を高める。
- ・ 自分の将来を見つめるきっかけとし、勤労の意義や職業選択について考えようとする態度を育てる。
- ・ ルールやマナーを知り、道徳的実践力を養うとともに人を敬う気持ちを育てる。

○具体的な学習内容

- ・体験学習の意義と心得を学び、職場体験の希望調査を行う。
- ・オリエンテーション、グループ編成を行う。
- ・市内外 35 の事業所に分かれ、それぞれの事業所での職場体験を行う。
- ・職場体験で学んだことを職場新聞としてまとめ、学級内外で発表し、発信する。
- ・職場体験を行う前に 4 ヶ月間で、計 8 回の講座を行い、大牟田でキラッと光る技術で勝負する地域企業を学校内に講師して招き、講話を聞く。

④ 保育学習に係わる活動

【第 3 学年】

「命の大切さや思いやりの心を育む、幼児とのふれあい体験」

○学習のねらい

- ・幼児とのふれあい体験活動を行い、思いやりの心を育て、発表する。
- ・生命尊重と命の大切さについて考える。
- ・社会人としてのマナーやルールについて学習する。

○具体的な学習内容

- ・体験学習の意義と心得、体験する保育所の希望調査を行う。
- ・班編成を行い、実習計画を立てる。
- ・実習のための準備作業を行う。
- ・保育所との事前打ち合わせを行う。
- ・保育実習を行う。(市内外 15 施設)
- ・体験で学んだことをレポートにまとめる。
- ・校内にレポートを掲示する。

① の写真〈第 1 学年〉

【講師を招いての講話】



【声かけ寸劇発表】



② の写真〈第2学年〉

【講師を招いての講話】



③ の写真〈第2学年〉

【職場体験学習】



④ の写真〈第3学年〉

【保育体験学習】



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input checked="" type="checkbox"/> 17. その他(進路学習、キャリア教育)		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

ユネスコスクールとしての活動を総合的な学習の時間に位置づけている。全体計画を作成して目標、身につけさせたい態度や能力、各学年のテーマ（目標・学習内容）などの全体計画を作成している。指導内容においては、3 学年の活動計画を教育課程に記載し、3 年間を見通した指導に努めている。1 年生（福祉学習）2 年生（進路学習、職業体験学習）3 年生（保育体験学習）実施している。

諸活動の指導方法の工夫に関しては、それぞれの活動において実施要領を作成し、生徒自ら課題を見つけること、課題を解決すること、自己の生き方につなげることを重視した活動を指導している。また、効率的な活動の実施や生徒の安全確保などに努め、各教科、道徳、特別活動、地域との連携を重視している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200 字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

校務分掌に各学年 1 名からなる ESD 担当と学校全体としてユネスコスクール担当を位置づけ、組織的な活動ができる体制を整えている。

ユネスコスクールとしての活動が各学年単位の活動が主なので、学年で発達段階を考慮し計画、実施、評価、改善のサイクルを大切にして、他の学年へとも連携しあいながら教育活動を実践している。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200 字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

成果に関しては、今年度は、1 年生～3 年生までで、多くの専門的な講師を招いての講話を聞くことができた。そのため生徒は、幅広い視野を持つことができたと思う。2 年生は、この時期に進路学習を入れることによって、自分の今後の進路や職業に関して考える良い機会になった。そして、日頃の学習でも意欲が高まった生徒も出てきた。2 年生の進路学習と職業学習は自分自身を見つめ、今後を考える良い学習になった。

課題に関しては、基本的なこととして、挨拶、話を聞くマナー、御礼状の書き方の指導を工夫する必要がある。今後は学んだことをもとに、自分の立場を自覚し、社会の一員として地域作りに参画する実践力の育成につなげたい。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

発信方法は、学級・学年通信、学校通信、授業参観時の掲示物（各学年でまとめたものを廊下に掲示）、地方新聞紙掲載、FM 放送などである。
内容は、総合体験時の取組の内容と学んだこと、成果などである。
効果は、保護者や地域の方から、次の体験への協力拡大になった。自分達の取り組みを保護者、大牟田市の地域の方々に伝えることができた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD 活動支援センター、ESD コンソーシアムとの連携など）
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

福祉学習では、市役所の長寿社会福祉課の方や、社会福祉協議会の方などに来校してもらい、講話を頂いた。
進路学習では、高等学校では、大牟田北高校さん、誠修高校さん、三池工業さん、ありあけ新世高校さん、有明高校さんに来校してもらい講話を頂きました。大学では、保健医療経営大学さん、帝京大学さんに来校してもらい、講話を頂いた。
キャリア教育では、大牟田市にある稲田豆の社長さん、日立ハイテクさん、石橋こんにやく屋の社長さんなどに来校してもらい、講話を頂いた。また職場体験では、全 35 カ所の事業所にお世話になった。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成 (200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

○生徒会役員による 3 校の小学校との交流を行っている。
○本年度、大牟田市でのユネスコスクール全国大会開催だったことから、国内のユネスコスクールの先生方と様々な情報交換を行った。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）(200字程度) ※チェック事項 2-5 に対応

様々な依頼を生徒、職員が行うことにより今まで気づかなかった地域のこと、職業のこと、保護者のことなどいろいろと知ることができた。職員室における指導法についての意見交換が活発に行われるようになった。

(3) 平成 30 年度の活動計画 (200～400 字程度)

【第 1 学年】「誰もが安心して暮らせる大牟田のまちづくり」

○学習のねらい

- ・大牟田における福祉の取り組みを学ぶことを切り口に、地域の現状と自分の立場を自覚し、社会の一員として地域づくりに参画する実践力を育てる。

【第 2 学年】「進路学習」

○学習のねらい

- ・高校についての情報に加えて、高校卒業後の大学や専門学校など、さらには大学卒業後の就職などのもう一歩先の情報を提供し、将来設計について考える機会とする。

【第 2 学年】「働くことの意義を学ぶ地域職場体験」

○学習のねらい

- ・地域のさまざまな人の生活にふれながら、働くことの意義や価値について学ぶ。
- ・自分の生き方を省みて、目的を持って活動に取り組み、意欲的な中学校生活を送ろうとする意識を高める。
- ・自分の将来を見つめるきっかけとし、勤労の意義や職業選択について考えようとする態度を育てる。
- ・ルールやマナーを知り、道徳的実践力を養うとともに人を敬う気持ちを育てる。

【第 3 学年】

「命の大切さや思いやりの心を育む、幼児とのふれあい体験」

○学習のねらい

- ・幼児とのふれあい体験活動を行い、思いやりの心を育て、発表する。
- ・生命尊重と命の大切さについて考える。
- ・社会人としてのマナーやルールについて学習する。